

売薬としてのラジウム – 放射性医薬業における William Bailey の手法と行動

Radium as a "patent medicine" - The methods and activities of William J. A. Bailey in the field of radioactivity

AMA Bureau of Investigation. J Am Med Assoc 98:1397-99,1932

鉄鋼会社経営者でありスポーツマンでもある有名人のラジウム中毒による死に関する最近の新聞報道は、一般の人々に疑問を抱かせた。なぜ連邦政府機関は危険な「売薬」の無制限な販売を認可したのか？その答は、医師ならば誰でも知っているように、連邦政府はこのような危険なインチキ薬の販売を止める権力を持たないからである。国内取引きされる薬剤のパッケージの中あるいは表の記載に偽りがなく、指定されている11種の薬剤あるいはその派生物の有無、量が法令通りにラベルに明記されていれば、連邦政府はいかなる製品といえども販売を差し止めることはできない。

前述の男性の死亡は、新聞報道によると、Baily Radium Laboratories の名称で事業を行なっているニュージャージー州 East Orange の William J. A. Bailey (エイリアム・ベイリー) の手になるレディソール (Radithor) というインチキ薬の継続使用によるものである。レディソールは、これまで2回、1927年1月29日および7月16日の本誌でも取上げられている。過去の死亡事故、および今後同じような事故が起こりうる可能性はレディソール製造者への関心を呼ぶものであり、William J. A. Bailey について本誌調査部が収集した事実は一般的興味を引くものであろう。

Carnegie Engineering Corporation

William J. A. Bailey について我々が手にした最初期の記録は、1915年8月5日のNew York Times 紙の報道で、William J. A. Bailey が、Carnegie Engineering Corporation 社の宣伝活動に関する連邦当局の調査の結果逮捕されたという記事である。それによると、同社は世界中に約600ドルの新車を船渡し(FOB)でピッツバーグに送るという宣伝ちらしを送付した。1台あたり50ドルの前金で、記事によると約1,500件のオーダーがあった。Carnegie Engineering Corporation は、有名な Carnegie Steel Company とは全く無関係であるが、一般大衆は何か関係があるかのように思い込んだ。Bailey の会社は、ミシガン州 Kalamazoo に工場があると広告していた。捜査の結果、この工場とは道具箱1つだけの製材工場の廃屋であった！会社は資本金100万ドルとうたっていたが、資産はわずかな文房具とタイピスト3人が使う器材のみであった。同記事によると、Bailey は、American Hardware and Machinery Export Corporation の社長兼財務部長でもあった。

1915年9月9日、郵政公社総裁は、Carnegie Engineering Corporation に対して郵便配達禁止命令(訳

注：fraud order. 郵便の不正利用する者に対する郵便配達禁止命令)を発令した。郵政当局の発表では、同社は100万ドルで設立されているが、資本株式は1株たりとも購入されておらず、1ドルたりとも支払われていない。機械を製造する材料、施設は存在せず、ビジネスを行なう手段も存在せず、存在したこともなかった。Bailey および他2名の関係者は逮捕され、連邦大陪審の審議に付された。ニューヨーク市の刑務所の記録によると、William J. A. Bailey は1914年12月14日、ニューヨーク裁判所で米国法第215項違反で有罪となっている。

エイリアム Arium

その数年前、Bailey は一連の売薬を販売するニューヨーク市 Associated Radium Chemists 社の社長兼創立者の1人であった。商品には咳に効くダックス (Dax), ラジウム湿布薬ライナリウム (Linarium), インフルエンザに効くクラックス (Clax) などがあり、特に「ラジウム入り錠剤」エイリアム (Arium) は主力製品で、大々的に広告していた。本誌調査部には、この明らかなインチキ薬に関して何百本もの質問が寄せられ、農業省はまもなくは数回の差し押さえを行ない、エイリアムの効能は不当、詐欺であると明言し、不適認定、接収が行なわれ、製品破棄を命ぜる裁判所命令が出された。

ソロン Thorone

Bailey はニューヨーク市の Thorone Company にも関与していた。Thorone Company から発信された手紙をみると、Thorone Company は J. A. Bailey そのものである。この会社は、「ラジウム・トリウム薬物製剤」(Radium and Thorium Pharmaceutical Preparations)を販売していた。主力製品ソロンは、「William J. A. Bailey による処方」で「ラジウムより250倍強力な放射能をもつ」と書かれていた。いわゆる「万能薬」タイプのインチキ薬で、「すべての腺病、代謝病、化学的異常」に効くとされていた。また特に性的不能に推奨されていた。

レディエンドクリネーター Radiendocrinator

次に William J. A. Bailey は、Ward Leathers とともに、ニューヨーク市の American Endocrine Laboratories の名前で、高価なガラクタ、レディエンドクリネーター (Radiendocrinator) を販売した。これは大きさ2×3インチ、厚さ3/8インチの板で、価格1,000ドルであつ

た。広告はそれなりに凝ったもので、「回春」を期待する裕福なノイローゼ患者に訴えるものであった。しかしレディエンドクリネーターは、「家庭の医学」からとってきたに違いない一連の疾患にも効くとされ、アルファベット順に、アシドーシス (acidosis), 無月経 (amenorrhea) から、目のむくみ (baggy eyes) と嘔氣 (biliousness), カタル (catarrh) と便秘 (constipation), 糖尿病 (diabetes) と頭皮乾燥症 (dry scalp), 疲労 (fatigue) と鼓腸 (fatulence), 甲状腺腫 (goiter) と痛風 (gout), 腰痛 (lumbago), 粘液水腫 (myxedema), 肥満 (obesity), 記憶障害 (poor memory), にきび (pimples), 前立腺炎 (prostatitis), くる病 (rickets), 坐骨神経痛 (sciatica), 皮膚の皺 (wrinkles) が列挙されている。これに加えて広告は「容貌、性格、記憶が改善される」とうたっている。決して安っぽくは見えず、当初は額面もなく価格 1,000 ドルを掲げ、おそらくその値段で売れたのであろう。しかしその後、メッキがはがれてくれるままで 500 ドル、その後 150 ドルまで下がった。レディエンドクリネーターは、「内分泌腺をイオン化する」 γ 線を放出するとされていた。

レディソール Radithor

そしてレディソール (Radithor) の登場である。Bailey はこの販売には、Bailey Radium Laboratories を利用した。レディソールは半オンスのボトル入りで、1 ケース 30 本単位でしか買えず、価格は 30 ドルであった。1 日 1 本服用し、1 ケースが 1 カ月分である。Bailey は、各ケースに「3 回蒸溜水に本物のラジウム、メソトリウム含有」と書いた「レディソール保証書」を添付した。さらに「レディソールの生理学的効果は、すべて含有される放射性元素の作用による」と保証している。レディソールを飲んで死に到った鉄鋼王の報道を読んだ人々は、「レディソールはあらゆる面で無害」という



最近の有名な会社経営者の死の原因となったレディソールの「保証書」。レディソールが無害であることを保証すると書かれている。

「保証」に関心を持ったであろう。Bailey がレディソールを売るにあたって、次のように述べている点は特徴的である。

「従来のラジウム注射、エマネーション発生装置、ラジウム鉱石瓶、ラジウム錠剤などはほとんど不要になった」

過去にラジウム錠剤、1,000 ドルもするエマネーション発生装置を販売し、レディソールが市場から消えた後はまた他のエマネーション装置を販売した人間がこう言っているのである！

レディソールが効能をうたうさまざまな疾患は、レディエンドクリネーターが効くとしたアルファベット順の疾患リストと基本的に同じである。Bailey はその広告で、レディソールを服用する場合は一定期間、少なくとも 3~5 カ月が平均的な状態に対して望ましいとしている。

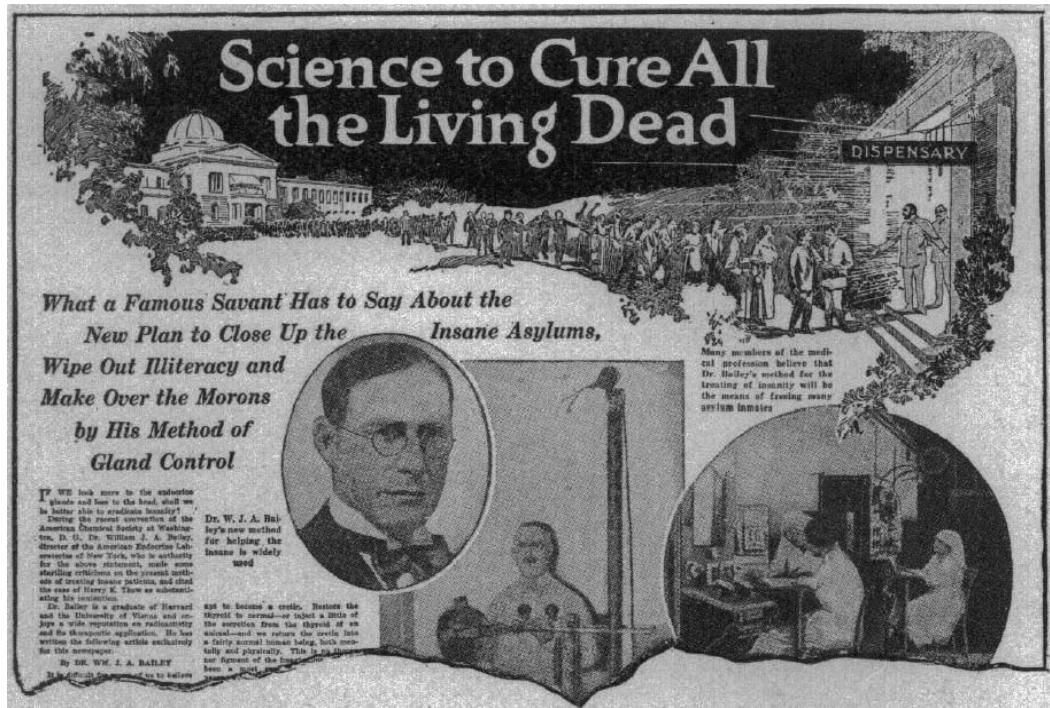
Bailey は食品薬品法の網にはかからないことから、レディソールの不当表示に対して連邦取引委員会がその活動の調査を開始した。Bailey の過去の経験から、不当表示を製品パッケージ以外のところに表示するようになっていたからである。1932 年 1 月 17 日、連邦取引委員会は、レディソールに含まれるラジウムの α 線が非破壊的であるとの主張、ならびにレディソールが無害な製品であるとする表示の停止を命じた。また、レディソールがその広告に記載されている 160 の病態、症状を改善するとの表示の停止も命じた。さらに、著者以外の者によるレディソールの宣伝が載った書籍、冊子の販売の停止も命じた。Bailey は委員会と争わず、彼一流のやり方で、また新しいインチキ放射能治療装置に踏み出した。

バイオレイ Bioray

Bailey の次なる製品は、ニュージャージー州 East Orange の私書箱に住所をおく Bioray Company から発売されたバイオレイ (Bioray) であった。Bioray Company はまた明らかに William J. A. Bailey そのものである。バイオレイは「 γ 線を持続的に放出する」もので、宣伝文は以下のようなものであった。

「バイオレイは、机の上、夜はベッドの脇、どこにでも置けます。光線は布地を透過しますから、服を着ていても、寝具をかけていても、確実に光線を浴びることができます。形も美しく、インク瓶や卓上時計程度の場所しかありません。重さは 1 ポンド以下ですから、旅行に行くときはハンドバッグにも入ります。」

バイオレイを部屋に置けば、見えないガンマ線が直ちに目に部屋に溢れます。昼も夜も、夏も冬も、雨の日も晴れの日も、いつでも欲しい時にこの光線を手にすることができます。バイオレイを机やベッドサイドに置けば、何の苦労もなく、日々の仕事を邪魔されることなく、ガンマ線を



Bailey の米国化学会での発表に関する新聞の全面記事の一部。多くの新聞に提携記事として掲載され、その後 Bailey はこのコピーをだまし商法の宣伝に利用した（訳注：Bailey 博士の新治療法で、精神発達遅滞が治り精神病院はいらなくなるといった内容。甲状腺機能低下症（クレチン症）の治療を扱ったものらしい）。

常に浴びることができます。欲しいところに置くだけで、あとは自動的です。

バイオレイは、補充する必要がありません。内部の放射エネルギーは、昼も夜も、何百年も、強力な光線を持続します。完全無欠、故障知らずです。電気は不要ですから、運転費用もかかりません。故障するところはなく、使うために特に技術は不要です。

光線は遠くまで届きますから、部屋やオフィスの隅々まで、大勢の人たちが同時に光線を浴びることができます。バイオレイは《小さな太陽》と呼ばれていますが、その短波長の目に見えない光は、太陽光よりもずっと豊かです」

ソロネーター Thoronator

次の放射性万能薬は、「御家庭やオフィスの健康温泉」ソロネーターであった。これは水2オンス（訳注：約60cc）の水をいれた小さなガラス瓶で、その中に小さなシリンドラーがあり、トロン（訳注： ^{220}Rn の別名）の気体を放出するというものであった。使用者はガラス瓶に好きなときに水道水を入れると、水が「ただちに魔法のように、世界の有名な温泉と同じ豊富な光線を放出する正真正銘の放射性水に変化し、旧式のラジウム瓶の光線より何百倍も強力」であった。宣伝文句の一部には、New York Radium Instituteの便箋に書かれたC. Everett Field「所長」の署名入りで William J. A. Bailey 宛の「報告書」があり、Field博士は、Bailey が「このトロンを経済的に簡単に入手できる装置を開発したことを大いなる喜びとする」と書かれている。このソロネーターは、ニュージャージー州 East Orange, Central Avenue 617 の Thoronator Company of New

Jersey から販売された。

アドレノレイ Adrenoray

ソロネーターがどのくらい長続きしたのか分からぬが、Bailey の現在の会社名は、Bioray Company でも、Thoronator Company でもなく、Adrenoray Company である。もちろん住所は、ニュージャージー州 East Orange である。アドレノレイは放射性のベルトで、「規定量の正真正銘のラジウムを含み、恒常的に一定量の弱い、透過性、刺激性のガンマ線を放出する」。ディスク部分が副腎の上に来るようこのベルトを着用すると、アドレノレイが放出する「持続的な生物活性放射線によって副腎がイオン化」される。主な効能は「性機能の低下、全身衰弱、神経衰弱」の治療であるが、Bailey が他の放射能インチキ薬でもしばしば利用しているアルファベット順の諸疾患にも効能がある。

Bailey はアドレノレイの宣伝で、製品の Radium Institute における使用について触れ、所長の C. Everett Field 医師による臨床報告と称するものを公開している。この C. Everett Field は、現在は引退しているが長く Koch 癌療法^{*}を称揚してきた人物である。Field はアドレノレイを強く推奨しているが、1926年に地元ニューヨーク市の医師会を除籍されている。

これをもって、本調査委員会の William J. A. Bailey の記録は 1932 年 3 月に至るが、ラジウムを「壳薬」と

* 訳注: Koch cancer treatment: アメリカの内科医 William Frederick Koch (1885-1967) が提唱した独自の抗毒素による癌治療法。1919年に開発し、特に 1930~40 年代にはこれを信奉する医師グループもあったが、結局インチキ治療法と認定された。

する Bailey の次の計画がいかなるものか、今後を見なければ分からぬ。長年にわたるその宣伝、活動の中で、Bailey は「博士」とされているが、我々の記録をみる限り、正当な医学部を卒業したり、いずれの州でも診療免許を得た形跡はない。1927 年 1 月、William J. A. Bailey は、ニュージャージー州で不当医療行為に対する罪状を認めている。数年前、Bailey は米国科学会に姿を現わし、人々を煙に巻いた。新聞で大きく取上げられたが、化学界では当時も今も全く無名である。

これまでの記録から Bailey は、公共の危害の上に自己の利益を求めるにあたって、インチキ自動車業界よりインチキ医学界の方がずっと楽であると考えたプロモーターに過ぎないことは明らかである。このことは陪審員が、病気治療のために無効で危険な製品を売る者よりも、偽株式を売る者を厳しく断ずることの方が多いことから明らかである。法の世界では、人間の命は文明における安価な商品の一つに過ぎないのである。